

ガイドライン見直しの方向性

1. 評価項目及び配点の見直し

競争参加資格とする評価項目

簡易型における評価項目のうち、競争参加者の大部分が満点を得ており、技術力評価の結果に優位な差異が生じていない次の評価項目は、競争に参加する者に必要な資格(競争参加資格)として設定し、総合評価においては評価しないこととしてはどうか。

企業の同種・類似工事の施工実績
配置予定技術者の保有する資格
近隣地域での施工実績

配点の見直し

競争参加者の大部分が加算点を得ていない評価項目や過去の工事成績については、技術力競争を促進するため、配点を高めてはどうか。

企業及び配置予定技術者の過去の工事成績
企業及び配置予定技術者の表彰の有無
技術開発の実績の有無

施工体制を確認する評価項目の導入

公共工事の品質の更なる確保を図るため、入札手続の段階で競争参加者の施工体制を確認・評価を行う総合評価方式を新たに導入してはどうか。

2. 加算点の拡大と算定方法の検討

加算点の拡大

加算点の満点が大きいほど、技術評価点の低い企業が落札する割合が小さくなっており、技術評価点の高い企業が適切な価格で落札できるように、加算点を拡大してはどうか。

加算点の算定方法の検討

加算点の算出方法として、競争参加者間で最も評価の高い者に加算点の満点を付与する「一位満点方式」や得点の合計をそのまま加算点とする「素点計上方式」が採用されている。これらの方式の長所・短所や加算点の算定例を示してはどうか。

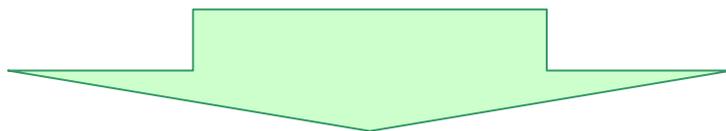
〔各方式の比較〕

	長 所	短 所
素点計上方式	得点差をそのまま技術力評価の差とすることができる。	競争参加者間における技術力評価に差がつきにくい。
一位満点方式	技術力が高い企業を優位に評価することができる。	全体的に低得点の場合に、最高得点者を過大評価する可能性がある。
一位満点・最下位0点方式	技術力が高い企業をより優位に評価することができる。	上記に加え、全体的に高得点の場合に、最低得点者を過小評価する可能性がある。

3 . 技術提案の課題設定と評価方法の検討

技術提案の課題設定と評価方法の検討

簡易な施工計画は企業の技術力評価に有効であるが、発注担当職員は課題や評価基準の設定に苦慮しており、標準型と同様な技術提案を求め、評価している事例も見受けられる。一方、標準型においても技術提案の形骸化が懸念される。適切な課題設定と評価のあり方について検討してはどうか。



事例集のとりまとめ

総合評価方式をより適切に運用するため、直轄工事における簡易型及び標準型の課題設定や評価方法の具体例を事例集としてとりまとめてはどうか。

地方公共団体における事例集の活用も視野に入れ、先駆的な地方公共団体の取組事例についても取り入れてはどうか。